

# 『土曜講習』（2022年度・高校入試対策）につき

## I 土曜講習の意義

① 高校入試まであと6ヶ月（私立高校の場合は5ヶ月）という所まで来ました。ただ、特に、英語・数学を中心として、まだまだこれから習う分野が入試問題の核を占めるのであって（英語ならば、「分詞の形容詞的用法」「名詞を修飾する節」「関係代名詞節」「間接疑問文」「仮定法」など。数学ならば「 $X^2$ に比例する関数」「相似」など。）今まで以上に気合を入れて勉強する必要があります。その難しい分野（特に数学では「図形」と「関数」の融合問題にかなりの時間を費やします。「相似」の分野では、否応なく、相当の時間を取られます。）を学習しながら、入試問題にもできる限り多くあたり、慣れておく必要がある、というのがここから入試までに『十分な勉強量』と『第一志望校合格に向けて受験勉強をやり抜く』『強い意志』が必要とされるゆえんなのです。（特に私立高校の入試問題は、相当程度過去の問題をやり込んで慣れておかないと対応できない、というのが現状です。）

② i) また、私立高校の問題は自分ひとりで解くには難しいものが多く（特に数学と、英語の全般）、そのために神田塾の『土曜講習』を利用していただく意味は十分にあると思いますし、何よりも難しい問題に数多くあたることにより「公立高校入試に余裕を持って臨む」ことができる、という大きなメリットがあります。（勿論、基本は「公立中堅校」以上の合格に必要な実力を養うことにありますので、いわゆる『癖のある問題』や『超難問』に時間を費やすことはしません。）

ii) 公立高校入試が一気に「難化」しました。各教科20問⇒22問（時間は、40分⇒45分に（英語は50分））となりましたが、「問題量が増える」以上に、「問題のレベル」が相当に上がっています。これは2022年来年度からの大学受験の変革を踏まえてのものですが、この「難化」に対応するには、当然ですがこれまで以上に「相当の準備」をする必要があります。

## II 公立高校入試の難化

① 2017年度より愛知県の公立高入試が、一気に難化しました。かねてから予想されたことですが、特に英語において、形だけは従来のを踏まえながら内容は劇的に難しくなっています。また、愛知県の国語は、従来より

簡単なことで有名だったのですが、これも論説・説明文を中心に大きく変わってきました。数学では、2017年度入試より、それまでになかった「高い思考力」を要求する問題が出されはじめています。英語を解く力に、より正確に文脈を読み取るよう、読解力が要求されるようになったのも4年前からです。2019年度Aグループの理科でも、今までに全くなかった新傾向の問題が出されました。これも「読解力」に加え、「粘り強く考える」練習を繰り返しておけば、対応できたはずですが、ともかく、この4年間は、入試制度そのものの改変を受け、「より高い実力」が要求されるようになったのです。（中堅校の場合。上位校は、「高いレベルでの実力勝負」となります。）

② 当分の間、5教科の一層の難化が予想されますが、これは国の教育に対する方針・施策を考えれば当然のことと思います。特にここ3年間の入試では、当日点を取りにくい為、内申点のある人が有利になりました。が、問題の難化が続けば、やはりそれに対応する力をつけねばなりませんし、実際、生徒の皆さんは対応できる力をつけて行くものです。

③ 神田塾ではこの流れに対応するべく本年度も『土曜講習』を開催させていただきます。2017年度入試より、大きな変革が起きました。思考力、判断力、表現力がより重視されるようになり、今後当分の間、公立高校の入試が今まで以上に難化するの、想像に難くありません。②で述べた通りです。それを踏まえての、『土曜講習』を行います。

なお、ある程度入試問題にも慣れ、実力も定着した後は、今度は本番の入試問題でミスを犯さない、すなわち失点しないための講座を予定しています。

（予定では12月より。）

### Ⅲ 料金

1回3時間20分

塾生： 6か月 64,200円（税込み）月割り 10,700円（税込み）

塾外生：6か月 99,000円（税込み）月割り 16,500円（税込み）

テキスト代 3,500円